

「飲酒運転 しないさせない 同乗しない」

飲酒運転は絶対にダメ

秋の全国一斉交通安全県民運動

9月21日～30日

秋は、行楽やスポーツなど外出に適した絶好の時期となり、人や車の動きが活発になります。

この時期は、日没時刻が日増しに早まることから、夕暮れ時から夜間にかけて高齢者をはじめとした交通弱者が交通事故に遭う危険性が高まります。

そこで、秋の交通安全県民運動として、次の重点実施項目に沿った運動を県民総ぐるみで展開し、交通事故の防止を図ります。

皆さん一人ひとりが交通安全に対する意識を高め、交通事故の防止に努めてください。

重点実施項目

高齢者を交通事故から守ろう

- ・ 外出時には、家族が必ず交通安全の一声を掛け、反射材などの着用を徹底する。
- ・ 自宅近くの危険個所を確認し、事故防止について話しあう。
- ・ 高齢者ドライバーは積極的に交通安全教室に参加する。
- ・ 高齢者を見かけたら、速度をス

ローにするなど思いやり運転に心掛ける。

飲酒運転を根絶しよう

- ・ 飲酒運転による事故の悲惨さと責任の重大さについて、家族で話し合う機会を持つ。
- ・ 飲酒の予定がある日の帰宅の方法について話し合っておく。
- ・ 飲酒を伴う会合などへの出席は、公共の交通機関を利用したり、代行運転や家族の送迎を依頼する。
- ・ 飲酒運転は、被害者、加害者のいずれの人生をも狂わせる社会的犯罪であることを自覚する。

夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故をなくそう

- ・ 夕暮れ時の交通事故の危険性について話し合い、目立つ服装や反射材の着用に関心掛ける。
- ・ 自転車の日常点検を行う。
- ・ 前照灯を午後五時には点灯し、夕暮れ時や夜間の交差点では確実に安全確認を行う。

後部座席を含むシートベルト・チャイルドシートを正しく着用しよう

- ・ 「カチッと1000」を合言葉に全ての座席のシートベルト着用を確かめてから発進するなど、百パーセント着用を目指す。
- ・ チャイルドシートの使用と座席への正しい取り付けを徹底する。
- ・ わずかな距離でも確実に着用する習慣をつける。

交通安全スリース運動

ストップ（Stop）：赤信号はストップ、一時停止場所でストップ、飲酒運転をストップ

スロー（Slow）：見通しの悪い交差点での速度をスロー、高齢者や子どもを見たら速度をスロー
 スマート（Smart）：運転中は携帯電話をしない、急発進・空ふかしをしない、シートベルトは正しく着用し、思いやりにあふれたスマート運転をしよう

街頭啓発を実施

秋の交通安全県民運動期間の九月二十五日（木）に、「知多半島オールファミリー交通安全一斉街頭啓発活動」キャンペーンを実施します。

このキャンペーンは、半田警察署管内一市五町が、合同で主要交差点とその付近で一斉街頭啓発活動を展開するものです。協力をお願いします。

阿久比町交通事故発生状況《平成20年1月～7月末》

区分	件数			人数		
	20年	19年	増減	20年	19年	増減
死亡	0	0	+ 0	0	0	+ 0
重傷	5	5	+ 0	5	5	+ 0
軽傷	112	117	- 5	140	162	- 22
合計	117	122	- 5	145	167	- 22

（半田警察署調べ）

日 時 九月二十五日（木）
 午前七時半～午前八時
 啓発場所
 近くの主要交差点またはその付近でお願いします。（小雨決行）

反射タスキを防災交通課で無料配布しています。

問い合わせ先 防災交通課
 ☎（48）1111（内277）